

# 星野文昭・暁子

# 絵 と 詩 展



沖縄の光のなかの果物たち

# あの坂をのぼって



「あの坂をのぼって」のあの坂とは、星野暁子さんが、文昭さんとの画会に35年通い続けのぼった、徳島刑務所に至る坂道の事です。

## 愛情の発信地

3畳の小さな房の中から  
届けられる あなたの絵が  
私に 伝えてくれるのは  
生きている 生命の喜びだろう

あまりに多くを 奪われているがゆえ  
ふりしぼった 愛の強さゆえ  
見えてくる 生命の輝きを  
あなたは キャンパスに 託した

あなたの日常に届ける  
毎日の 私からのたよりは  
あなたと私の生活を 豊かに 変えてくれたよつです  
孤独を癒し  
あなたを より身近に 感じさせてくれるのです  
あなたの描く 生命の喜びが  
許されている 私  
たよりを 毎日 書くことで 伝わってくるのです

豊かに とともに 生きるといことが  
闘いではあるのだけど  
愛情の発信地に  
私ができることで  
初めて 私たちの愛は  
豊かに なるのです

■日時:2024年

4月6日(土) ◆12時~18時

7日(日) ◆10時~18時

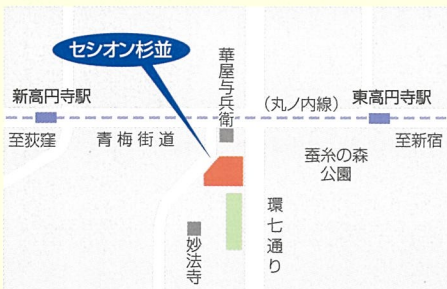
※13時~と15時~から、  
ジャスティスさんの演奏会があります。  
(裏面参照)

■会場:杉並区

## セッション杉並

杉並区梅里1-22-32

※東京メトロ丸ノ内線「東高円寺駅」下車徒歩5分  
または「新高円寺駅」下車徒歩7分

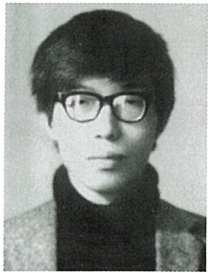


入場無料



獄中44年反戦を貫き沖縄とえん罪を闘ってきた星野文昭さんは、2019年5月30日、刑務所医療での肝臓ガンの手術の失敗で亡くなりました。現在国賠訴訟で闘われている、妻星野暁子さんへ、生前文昭さんから贈られた水彩画の絵を展示します。





**星野文昭**さんは1971年沖縄返還闘争をデモ隊のリーダーとして闘いました。太平洋戦争で米軍と地上戦になった沖縄は、戦後一貫して米軍による分離軍事支配下に置かれ、1971年日米政府は沖縄「返還協定」を締結しましたがそれは基地撤去を望む沖縄の民衆の思いを踏みにじった、基地を強化し、核持ち込みの密約まであった協定でした。これに怒りを燃やした沖縄は11月10日に、沖縄全土でゼネストで抗議し闘いました。それと連隊するために闘われたのが11月14日の渋谷闘争でした。この闘いの中で星野さんは、ガス銃を構えていた機動隊が一人死亡した事件で物的証拠もないまま実行犯にでっち上げられ逮捕されました。逮捕依頼44年間無実を訴え、反戦を訴え、最審を求めて闘い続けてきましたが、徳島刑務所で受刑を強いられた星野さんは、肝臓がんを発症し、2019年5月28日、移管された東日本成人矯正医療センターで癌の切除手術を受けましたが、2日後に亡くなりました。

### ■国賠訴訟で明らかになった事

徳島刑務所は体調不良を訴える星野さんの検査を拒否し、また肝臓に腫瘤を発見してからもう一ヶ月半も治療を放棄しました。東日本成人医療センターは肝臓がん切除を行う態勢も能力もないのに手術を強行し、術後のずさんなケアにより星野さんをショック状態にして死に至らしめました。医師の意見書によれば再開復手術をすれば星野さんの命は助かったのです。今年国賠訴訟は第19回を迎え証人尋問という重要な局面に入りました。医師の意見書も揃い、法廷で医師が意見を論じ合う裁判が始まります。星野さん獄死の真実を追求し受刑者の健康も命も人権もないがしろにする獄中医療を弾劾し国賠に勝利するため力を貸して下さい!

ウクライナ戦争や、パレスチナの戦争により日本の軍事費が増加され沖縄ではミサイル配備が急激に加速されています。自然を壊して生物を殺して、生活に必要なものを奪われていき沖縄が再び戦場にされようとしています。星野文昭さんと暁子さんの絵と詩を通して、大事な価値観を感じてもらえる絵画展になれば嬉しいです。

最後に大坂正明さんにも注目してください。星野文昭さんと同じ事件の殺人犯にされ無実を訴えて闘っています。東京地裁は2023年12月に大坂さんへ懲役20年の判決を下しました。現在無実を求め控訴して闘っています。これは文昭さんとひとつの闘いです。

### ★星野文昭さんの闘いと生涯

- 1946.4.27 ・ 北海道札幌市に生まれる
- 1966 ・ 高崎経済大学入学
- 1971.11.14 ・ 沖縄闘争を闘う
- 1975.8.6 ・ 「殺人罪」で不当逮捕
- 1986.9.17 ・ 暁子さんと獄中結婚
- 1987.7.17 ・ 無期懲役刑確定
- 1996.4.17 ・ 第1次再審請求
- 2009.11.27 ・ 第2次再審請求
- 2012.2.5 ・ 徳島刑務所包囲デモ
- 2017.7.14 ・ 更生保護委員会闘争を開始
- 2018.8.22 ・ 激しい腹痛で倒れる
- 2019.3.1 ・ 肝臓がん発見を告知せず
- 4.18 ・ 医療センター(東京・昭島)に移送
- 5.28 ・ 肝臓がん切除手術、術後放置
- 5.30 ・ 逝去(享年73歳)
- 2020.2.21 ・ 遺族が国賠提訴申立

## 4.7 ジャスティス演奏会

●13時～ ●15時～ (各々1ステージ・40分)



星野文昭さんの絵「夏の恵みの野菜たち」と妻星野暁子さんの詩を元に作曲しました。



### ■ジャスティス (JUSTICE) プロフィール

久喜市在住。構成はボーカル2、ギター1の二人。フォークデュオ。1960年代後半にアメリカのフォークソングに出会い、趣味で歌い始めるが、結婚、子育てと長いブランクの後1993年、友人のコンサートにゲスト出演をしたのをきっかけに「ジャスティス」として活動を始める。アメリカのフォークソンググループであるピーター、ポール&マリーの歌を日本語に訳した歌、知人・友人の作品、自分たちのオリジナルを主なレパートリーとしている。地元での自主コンサート、各種イベント・集会へのゲスト等への出演を重ねて現在に至る。

## 4.6,7 絵と詩展に賛同します。

賛同金一口／(個人)500円・(団体)2,000円

・氏名

・住所

・電話

(公表 可 不可)

・コメント